

大学番号：274

[平成23年度設置]

計画の区分：大学新設

認可

日本映画大学 映画学部 映画学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 神奈川映像学園
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 日本映画大学総務部

職名・氏名 ソウムフチョウ シミス ヒトシ
総務部長 清水 等

電話番号 044-951-2511

（夜間） 044-951-2511

F A X 044-951-2681

e-mail shimizu@eiga.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学新設の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	・ ・ ・ ・ ・	1
2	授業科目の概要	・ ・ ・ ・ ・	5
3	施設・設備の整備状況、経費	・ ・ ・ ・ ・	11
4	既設大学等の状況	・ ・ ・ ・ ・	13
5	教員組織の状況	・ ・ ・ ・ ・	14
6	留意事項に対する履行状況等	・ ・ ・ ・ ・	19
7	その他全般的事項	・ ・ ・ ・ ・	20

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 神奈川映像学園

(2) 大学名

日本映画大学

(3) 大学の位置

(本部・新百合ヶ丘校舎)

〒215-0004

神奈川県川崎市麻生区万福寺1-16-30

(白山校舎)

〒215-0014

神奈川県川崎市麻生区白山2-1-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(サキ マチ) 佐々木 正路 (平成19年10月18日)		
学長	(イリ タオ) 飯利 忠男 (平成23年4月1日)		
学部長	(カハ セリ) 高橋 世織 (平成23年4月1日)		
学科長	(イムラ タイケ) 今村 大介 (平成23年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成21年度開設の4年制の学科の場合(平成24年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
映画学部 映画学科 学士(映画学)	4年	140人	2年次 20人 3年次 10人	640人	平成23年4月に1年次 平成24年4月に2年次編入 平成25年4月に3年次編入 開設

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	140 () [若干名]	- () []	140 (20) [若干名]	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	1.10倍	
志願者数	366 () [13]	- () []	232 (12) [8]	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
受験者数	354 () [13]	- () []	218 (12) [8]	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
合格者数	235 () [13]	- () []	207 (10) [7]	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
B 入学者数	166 () [11]	- () []	144 (4) [6]	- () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []	() () []		
入学定員超過率 B/A	1.18		1.02									

- (注) ・ 数字は, 平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[11] 166	[-] -	[6] 144	[-] -	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[9] 160	[-] -	[]	[]	[]	[]	
3年次			/		[]	[]	[]	[]	
4年次	/				[]	[]	[]	[]	
計			[11] 166	[15] 304	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	166 人	10 人	平成23年度	10 人	2 人	・他の教育機関への入学・転学(4名) ・就職(2名) ・就学意欲の低下(2名) ・家庭の事情(2名)	6.0% %
			平成24年度	0 人	0 人		
			平成25年度	- 人	- 人		
			平成26年度	- 人	- 人		
平成24年度 入学者	148 人	0 人	平成24年度	0 人	0 人		0.0% %
			平成25年度	- 人	- 人		
			平成26年度	- 人	- 人		
平成25年度 入学者	人	人	平成25年度	人	人		% %
			平成26年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	人	平成26年度	人	人		% %
合 計	314 人	10 人					3.2% %

(注)・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<映画学部 映画学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任	備考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基幹	スタートアップ演習	1前	日本映画大学	4			12 13	9 8	1				濱口文幸講師死亡のため、専任教員追加。 佐野哲郎(准教授)・熊澤聖人(講師) 平成23年12月審査 (23) 鴻英良(教授)就任辞退。他に担当教員が いるため、授業運営に支障はない。(24)	
	人間総合研究	1前	日本映画大学	8			5 3	4 2			1		教育環境を向上するため、専任教員追加： 石坂健治(教授)・安岡卓治(教授)・伊 津野知多(准教授)・韓東賢(准教授) 平成23年8月審査 技術指導を補助する助手を追加。(23)	
A群	日本文化論	1～4前	日本映画大学	2			1							
	日本伝統音楽概論	1～4前	日本映画大学	2								1		
	能楽概論	1～4前	日本映画大学	2								1		
	日本政治思想史	1～4前	日本映画大学	2								1		
	批評論	2～4前	日本映画大学	2				1						
	美術史	2～4通	日本映画大学	4									+	学生の選択肢を増やすため、各2単位の2科 目に分割し、この科目は削除する。2年次 は必修科目の履修で学生に余裕がないこと から、配当年次も3～4年に変更。(24)
	美術史Ⅰ	3～4前	日本映画大学	2									1	「美術史」(4単位)を分割したことによ り、新設。(24)
	美術史Ⅱ	3～4後	日本映画大学	2									1	「美術史」(4単位)を分割したことによ り、新設。(24)
	サブ・カルチャー論	1～4後	日本映画大学	2				2						
	哲学	1～4後	日本映画大学	2				1						
	絵巻特論	2～4後	日本映画大学	2									1	
	演劇WSⅠ	2～4後	日本映画大学	2				1 2						鴻英良(教授)就任辞退。他に担当教員が 一名いるため、授業運営に支障はない。 (24)
	物語WS	2～4後	日本映画大学	2				1						
	フェミニズムの視点	2～4後	日本映画大学	2				1						
	演劇WSⅡ	3～4後	日本映画大学	2				1						
触覚論	3～4後	日本映画大学	2				1	1						
B群	情報社会論	1～2前	日本映画大学	2				1						
	文章表現論	1～2前	日本映画大学	2				1						
	フィールド調査方法論	1～2前	日本映画大学	2				1						
	文化研究方法論	1～2前	日本映画大学	2				1						
	文化人類学	1～2前	日本映画大学	2								1		
	韓国語	1～4前	日本映画大学	2				1						
	英語Ⅰ	1～4前	日本映画大学	2				1						
	日本語	1～4前	日本映画大学	2				1						
	情報メディア論	1～4後	日本映画大学	2				1						
	英語Ⅱ	1～4後	日本映画大学	2				1						
	中国語	1～4後	日本映画大学	2								1		
	コミュニケーション	2～4後	日本映画大学	2				3						
翻訳概論	3～4後 前	日本映画大学	2				1						教員の担当科目が同時期に集中するため前 期科目に変更。(23)	
C群	表象文化論	1～2前	日本映画大学	2			2	3						
	国際理解基礎Ⅰ	1～2前 後	日本映画大学	2			1						教員の担当科目が同時期に集中するため後 期科目に変更。(23)	
	著作権入門	1～4前	日本映画大学	2								1		
	現代中国の生活文化事情	1～4前	日本映画大学	2								1		
	社会学入門	1～2後	日本映画大学	2				1						
	民俗学	1～4後 前	日本映画大学	2								1	学生の履修機会を増やすため、配当年次を 変更。(24)	
	朝鮮半島の近現代社会史	3～4後	日本映画大学	2				1						
	死生観のコスモロジー	3～4後	日本映画大学	2				3				1		
	ジャーナリズム論	3～4後	日本映画大学	2				1						
	日本へのまなざし	3～4後	日本映画大学	2				3	2					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任	備考			
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
教養科目	D群	地球環境倫理学	1～4前	日本映画大学	2								1			
		都市・建築空間論	1～4後 1～4前	日本映画大学	2								1	授業期間は夏期集中だが、成績は後期に算入するため後期科目となる。(23)		
		自然災害学	1～4後 1～4前	日本映画大学	2								1	授業期間は夏期集中だが、成績は後期に算入するため後期科目となる。(23)		
		デジタル映像技術概論	2～4後 1～4後	日本映画大学	2				1				1	濱口文幸講師死亡のため、担当者変更。2年前期配当の「ビデオ・デジタル技術基礎演習」を履修した後に受講する方が教育効果が高いため、配当年次を変更。(23)		
		科学技術文明論	1～4後	日本映画大学	2								1			
		森林環境学	1～4後	日本映画大学	2								1			
		音響論	3～4後	日本映画大学	2			2								
		環境思想	3～4後	日本映画大学	2			2						2		
	E群	身体文化論	2～4前 1～2前	日本映画大学	2			1						1	学生の履修機会を増やすため、配当年次を変更。(23) 鴻英良(教授) 就任辞退に伴い、平成24年度未開講。後任未定(24)	
		精神医学入門	1～4前	日本映画大学	2									1	兼任教員変更： 松本聡子→磯谷悠子 (23)	
		教育福祉制度論	1～4前	日本映画大学	2									1		
		キャリア・サポートⅠ	2前	日本映画大学	2				1					1	教育環境を向上するため、専任教員追加： 伊津野知多(准教授) 平成23年12月審査(23) 兼任教員変更：高橋克三→山本繁 (24)	
		キャリア・サポートⅡ	3前	日本映画大学	2									1	兼任教員変更：高橋克三→山本繁 (24)	
		キャリア・サポートⅢ	4前	日本映画大学	2									1	兼任教員変更：高橋克三→山本繁 (24)	
認知心理学		2 1～4後	日本映画大学	2									1	授業でデジタルビデオカメラを使用するため、機材の操作方法を学習した後の開講に変更。デジタルビデオカメラの操作については、2年前期の「ビデオ・デジタル技術基礎演習」で学習する。(23)		
体育		2～4後	日本映画大学	1									1			
インターンシップⅠ		3～4後 通	日本映画大学	2			1	1						教育環境を向上するため、インターンシップ受け入れ経験の豊富な教員を追加。担当：石坂健治(教授) 平成23年8月審査(23) インターンシップに出る期間の自由度を上げるために、配当年次を変更。(24)		
インターンシップⅡ		3～4後 通	日本映画大学	4			1	1						教育環境を向上するため、インターンシップ受け入れ経験の豊富な教員を追加。担当：石坂健治(教授) 平成23年8月審査(23) インターンシップに出る期間の自由度を上げるために、配当年次を変更。(24)		
基礎科目	創作系	脚本基礎演習	1前・1後	日本映画大学	2			2	1					2	2年次編入学生および、前期の成績が不合格となった者を対象に、1年後期(春期休業期間)にも開講することとした。教育環境を向上するため、専任教員追加：今村大介(教授) 平成23年12月審査(23)	
		長編シナリオ演習Ⅰ	1後・2前	日本映画大学	2			2	1					2	2年次編入学生を対象に、2年前期にも開講することとした。教育環境を向上するため、専任教員追加：今村大介(教授) 平成23年12月審査(23)	
		長編シナリオ演習Ⅱ	2前・2後	日本映画大学	2			2	1					2	2年次編入学生を対象に、2年後期(夏期集中)にも開講することとした。教育環境を向上するため、専任教員追加：今村大介(教授) 平成23年12月審査(23)	
		長編シナリオ制作	2前 1後	日本映画大学	4			2	1					2	授業期間は1年次の春期休業期間中だが、成績は2年前期に算入するため2年前期科目となる。教育環境を向上するため、専任教員追加：今村大介(教授) 平成23年12月審査(23)	
		映画制作基礎演習	1後	日本映画大学	8			3	2	1		1		2	2年次編入学生および、成績が不合格となった者を対象に、春期休業期間に集中講義を開講することとした。配当年次には変更なし。(23) 教育環境を向上するため、専任教員追加：荒井晴彦(教授)・佐野哲郎(准教授) 齊藤久志(准教授)・熊澤聖人(講師) 平成23年12月審査(23) 技術指導を補助する助手を追加。(23)	
		映画制作特別演習	1後	日本映画大学	10	10		4	2	1					2	2年次編入学生および、「映画制作基礎演習」(必修8単位)と「脚本基礎演習」(必修2単位)の成績が不合格となった者を対象に設けていたが、「映画制作基礎演習」、「脚本基礎演習」それぞれに特別クラスを開講することにしたため、削除する。(23)
		ビデオ・デジタル技術基礎演習	2前	日本映画大学	2				1	1					2	濱口文幸講師死亡のため、担当者変更。佐野哲郎(准教授) 平成23年12月審査(23)
		映画美術論	2前	日本映画大学	2			1							2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任	備考		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
基礎科目	理論系	映画史概論	1後 1～2後 1後	日本映画大学		2		1						「日本映画史」と合わせて、映画史の基本を初年次に学ばせる方が、その後の教育効果が高いと判断したため、当初計画に戻す。(23)	
		日本映画史	1前 2前	日本映画大学		2		1						「映画史概論」と合わせて、映画史の基本を初年次に学ばせる方が、その後の教育効果が高いと判断したため、配当年次を変更。(23)	
		イメージの図像学	1後	日本映画大学		2		1							
		映画ヒーロー論	1後	日本映画大学		2		1	3						
		映像とことば	2前	日本映画大学		2		1	2						
		映画と演劇	1後	日本映画大学		2		1 2							鴻英良（教授）就任辞退。他に担当教員が1名いるため、授業運営に支障はない。(24)
		フィルム・アーカイヴ学	1後	日本映画大学		2		1							
		映画流通論	2前	日本映画大学		2		1							
		英米文学精読	2前	日本映画大学		2		1							
		パフォーマンス概論	2前	日本映画大学		2		1					1	鴻英良（教授）就任辞退にともない、兼任に変更。平成24年度は鴻英良が兼任として担当する。(24)	
		芸能概論	2前	日本映画大学		2		1							
		コンテンツ文化史	2前	日本映画大学		2			1						
国際理解基礎Ⅱ	2前	日本映画大学		2		1									
専門基礎科目	創作系	脚本専門基礎講義	2前	日本映画大学		2		1	1					学生の履修機会を増やすため、選択必修科目から選択科目に変更。(24)	
		演出専門基礎講義	2前	日本映画大学		2		3	1	1				教育環境を向上するため、専任教員追加：熊澤誓人（講師）平成23年12月審査(23)	
		撮影照明専門基礎演習	2前	日本映画大学		2		1	1					教育環境を向上するため、専任教員追加：佐野哲郎（准教授）平成23年12月審査(23)	
		録音専門基礎演習	2前	日本映画大学		2		1				1		技術指導を補助する助手を追加。(23)	
		編集専門基礎演習	2前	日本映画大学		2			1						
		ドキュメンタリー専門基礎演習	2前	日本映画大学		2		1							
	理論系	理論A専門基礎講義	2前	日本映画大学		2		2 3	2						鴻英良（教授）就任辞退。他に担当教員がいるため、授業運営に支障はない。(24)
		理論B専門基礎講義	2前	日本映画大学		2		3	3						
		脚本専門演習Ⅰ-1	2後	日本映画大学		2		1	1						
		脚本専門演習Ⅰ-2	3前	日本映画大学		2		1	1						
専門科目	創作系	脚本専門演習Ⅱ	3後	日本映画大学		8		1	1						
		脚本演出専門演習Ⅰ-A	2後	日本映画大学		8		1	1	1				教育環境を向上するため、専任教員追加：細野辰興（准教授）平成23年8月審査 熊澤誓人（講師）平成23年12月審査(23)	
		脚本演出専門演習Ⅰ-B	2後	日本映画大学		8			1	1				教育環境を向上するため、専任教員追加：熊澤誓人（講師）平成23年12月審査(23)	
		脚本演出専門演習Ⅱ	3後	日本映画大学		8		1	1	1				教育環境を向上するため、専任教員追加：緒方明（教授）平成23年8月審査。 熊澤誓人（講師）平成23年12月審査。(23)	
		技術合同専門演習	2後	日本映画大学		8		2	2 1				1		教育環境を向上するため、専任教員追加：佐野哲郎（准教授）平成23年12月審査 教育環境を向上するため、技術指導を補助する助手を追加。(23)
		撮影照明専門演習	3後	日本映画大学		8		1	1				1		教育環境を向上するため、専任教員追加：佐野哲郎（准教授）平成23年12月審査 教育環境を向上するため、技術指導を補助する助手を追加。(23)
		録音専門演習	3後	日本映画大学		8		1					1		教育環境を向上するため、技術指導を補助する助手を追加。(23)
		編集専門演習	3後	日本映画大学		8			1						
		ドキュメンタリー専門演習Ⅰ	2後	日本映画大学		8		1							
		ドキュメンタリー専門演習Ⅱ	3後	日本映画大学		8		1							
		合同制作A	3前	日本映画大学		10		4 1	4 3	1			2		教育環境を向上するため、専任教員追加：緒方明（教授）・川上皓市（教授）・弦巻裕（教授）・齋藤久志（准教授）・細野辰興（准教授）・阿部浩英（准教授） 以上6名平成23年8月審査 佐野哲郎（准教授）・熊澤誓人（講師） 以上2名平成23年12月審査 教育環境を向上するため、技術指導を補助する助手を追加。(23)
		合同制作B	3前	日本映画大学		10		2 1							教育環境を向上するため、専任教員追加：石坂健治（教授）平成23年8月審査
		映画美術演習	2後	日本映画大学		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任	備考
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目 理論系	映画理論A	2後	日本映画大学		4			1					
	映画理論B	2後	日本映画大学		4			1					
	映画理論研究	3前	日本映画大学		4			1					
	映画イメージ論	3前 3後	日本映画大学		2 4			1					カリキュラムの順次性と、学生の履修のバランスを再考したことにより配当年次および単位数を変更。(24)
	映画ジャンル論B	3後 3前	日本映画大学		2			1					学生の履修機会を増やすために、選択必修科目から選択科目に変更。(24) カリキュラムの順次性と、学生の履修のバランスを再考したことにより配当年次を変更。(24)
	映画前史	2後	日本映画大学		4			1					
	アメリカ映画史	2後 3後	日本映画大学		2 4							1	学生の履修機会を増やすために選択必修科目から選択科目に変更し、単位数も4単位から2単位に変更する。(24) カリキュラムの順次性と、学生の履修のバランスを再考したことにより配当年次を変更。(24)
	文芸精読	3前	日本映画大学		4			1					
	シュルレアリスム研究	3前	日本映画大学		4			1					
	戯曲精読	3前	日本映画大学		4			1					鴻英良(教授) 就任辞退。後任未定。(24)
	舞台芸術批評研究	2後	日本映画大学		4			1					鴻英良(教授) 就任辞退に伴い、平成24年度未開講。後任未定。(24)
	考える身体	3後 3前	日本映画大学		2			1					鴻英良(教授) 就任辞退。後任未定。(24) カリキュラムの順次性と、学生の履修のバランスを再考したことにより配当年次を変更。(24)
	宝塚学	3後	日本映画大学		2			1					
	メディア表現論	3前 2後	日本映画大学		4				1				カリキュラムの順次性と、学生の履修のバランスを再考したことにより配当年次を変更。(24)
	クイア理論	2後 3前	日本映画大学		4			1					カリキュラムの順次性と、学生の履修のバランスを再考したことにより配当年次を変更。(24)
	エスニシティ研究	2後	日本映画大学		4				1				
	国際理解Ⅱ	3前	日本映画大学		4			1					
	映画理論C	2後 3後	日本映画大学		2				1				カリキュラムの順次性と、学生の履修のバランスを再考したことにより配当年次を変更。(24)
	比較映画論	2後	日本映画大学		2			2	2				
	映画ジャンル論A	3前 2後	日本映画大学		2				1				カリキュラムの順次性と、学生の履修のバランスを再考したことにより配当年次を変更。(24)
	アジア映画史	3後 3前	日本映画大学		2			1					カリキュラムの順次性と、学生の履修のバランスを再考したことにより配当年次を変更。(24)
	ドキュメンタリー映画史	3前 2後	日本映画大学		2			1					カリキュラムの順次性と、学生の履修のバランスを再考したことにより配当年次を変更。(24)
	シネリテラシー研究	3前	日本映画大学		2							1	
	シネリテラシー演習	後 3前	日本映画大学		2							1	授業期間は夏期集中だが、成績は後期に算入するため後期科目となる。(23)
	プロデュース論Ⅰ	3前	日本映画大学		2							1	
	プロデュース論Ⅱ	3後	日本映画大学		2							1	
	上映企画WS	3前 3後	日本映画大学		2				1				専門性の高い科目であるため、選択科目から理論系コースの選択必修科目に変更。(24) カリキュラムの順次性と、学生の履修のバランスを再考したことにより配当年次を変更。(24)
	映像人類学	2後	日本映画大学		2							1	
	物語論	2後	日本映画大学		2			2	2				
	文芸WS	3後	日本映画大学		2				1				専門性の高い科目であるため、選択科目から理論系コースの選択必修科目に変更。(24)
言語芸術論	3後	日本映画大学		2			2					鴻英良(教授) 就任辞退。後任未定。(24)	
情況論	3前 3後	日本映画大学		2				1				カリキュラムの順次性と、学生の履修のバランスを再考したことにより配当年次を変更。(24)	
国際理解Ⅰ	2後	日本映画大学		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	構成大学	単位数			専任教員等の配置					兼任	備考		
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門科目	創作系	卒業制作Ⅰ	4前	日本映画大学		8		7	4 3	1		2	濱口文幸講師死亡のため、専任教員追加：佐野哲郎（准教授）・熊澤誓人（講師）平成23年12月審査技術指導を補助する助手を追加。（23）		
	創作系	卒業制作Ⅱ	4後	日本映画大学		4		7	4 3	1		2	濱口文幸講師死亡のため、専任教員追加：佐野哲郎（准教授）・熊澤誓人（講師）平成23年12月審査技術指導を補助する助手を追加。（23）		
	理論系	卒業論文・プロジェクトⅠ	4前	日本映画大学		8		5 6	5					鴻英良（教授）就任辞退。他に担当教員がいるため、授業運営に支障はない。（24）	
	理論系	卒業論文・プロジェクトⅡ	4後	日本映画大学		4		5 6	5					鴻英良（教授）就任辞退。他に担当教員がいるため、授業運営に支障はない。（24）	
資格科目	博物館・社教	生涯学習概論	3～4通	日本映画大学		4							1	学生の選択肢を増やすため、各2単位の2科目に分割し、この科目は削除する。（24）	
	博物館・社教	生涯学習概論Ⅰ	3～4前	日本映画大学		2							1	「生涯学習概論」（4単位）を分割したことにより、新設。（24）	
	博物館	教育学概論	1～3前	日本映画大学		2								1	新カリキュラムでの学芸員養成課程の申請に伴い、削除。（23）
		博物館学	2～3通	日本映画大学		4								1	新カリキュラムでの学芸員養成課程の申請に伴い、削除。（23）
		博物館概論	2～3後	日本映画大学		2								1	新カリキュラムでの学芸員養成課程の申請に伴い新設。（23）
		博物館経営論	3～4後	日本映画大学		2								1	新カリキュラムでの学芸員養成課程の申請に伴い新設。（23）
		博物館資料論	2～3後	日本映画大学		2								1	担当者変更：山梨俊夫→太田泰人（23）
		博物館資料保存論	3～4後	日本映画大学		2								1	新カリキュラムでの学芸員養成課程の申請に伴い新設。（23）
		博物館展示論	3～4後	日本映画大学		2								1	新カリキュラムでの学芸員養成課程の申請に伴い新設。（23）
		博物館教育論	3～4前	日本映画大学		2								1	新カリキュラムでの学芸員養成課程の申請に伴い新設。（23）
		博物館情報・メディア論	3～4前	日本映画大学		2								1	新カリキュラムでの学芸員養成課程の申請に伴い新設。（23）
	博物館	博物館実習	4後 通	日本映画大学		3							1	学生が実習に出られる期間を増やすため、通年科目に変更。（23）梅田亜由美（兼任講師）就任辞退。後任未定。（24）	
	社教	生涯学習概論Ⅱ	3～4後	日本映画大学		2								1	「生涯学習概論」（4単位）を分割したことにより、新設。（24）
		社会教育演習および実習	3～4通	日本映画大学		4								1	
社会教育計画		3～4通	日本映画大学		4								1		
社会教育特講Ⅰ		3～4通	日本映画大学		4								1		
社会教育特講Ⅱ		3～4通	日本映画大学		4								1		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成23年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
9科目	129科目	0科目	138科目	8科目 [Δ1]	130科目 [2] [Δ1]	0科目 []	138科目 []	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：Δ1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	身体文化論	2	2~4前	一般	選択	鴻英良(教授) 就任辞退のため。 この科目と同じ教養科目・E群の科目は他に9科目あり、学生の選択肢は十分確保されている。
2	舞台芸術批評研究	4	2後	専門	選択	鴻英良(教授) 就任辞退のため。 この期間に開講される選択必修科目は他に5科目あり、学生の選択肢は十分確保されている。

- (注) ・ 設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	美術史	4	2~4通年	一般	選択	学生の履修の選択肢を増やすために、2科目に分割したため。「美術史Ⅰ」(2単位)と「美術史Ⅱ」(2単位)を新設した。
2	映画制作特別演習	10	1後	専門	選択	この科目は、編入学生および「映画制作基礎演習」(1年後期配当・必修8単位)と「脚本基礎演習」(1年前期配当・必修2単位)の成績が不合格となった学生のために設けたものである。 認可時は必修科目としていたが、平成23年度に選択必修科目に修正した。 その後、「映画制作基礎演習」、「脚本基礎演習」それぞれに、編入学生および不合格者を対象とする特別クラスを開講することにしたため、この科目を削除した。

- (注) ・ 設置認可時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「大学の所見」：未開講の2科目は、いずれも本学の専門分野である映画の隣接領域の科目である。これ以外に、本学では幅広い教養科目と専門科目を開講していることから、カリキュラム上必要な学習の機会は十分確保されていると考えている。

「学生への周知方法」：前期に実施する2年生対象のガイダンスおよび掲示にて周知する。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

(〇〇大学)

未開講科目と廃止科目の計	4	=	0.02
届出時の計画の授業科目数の計	138		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	借用面積 17,462.44㎡ 借用期間 平成22年4月から 平成55年3月 不算入用地 7,259.00㎡			
	校舎敷地	3,064.72㎡	0㎡	0㎡	3,064.72㎡				
	運動場用地	5,660.00㎡	0㎡	0㎡	5,660.00㎡				
	小 計	8,724.72㎡	0㎡	0㎡	8,724.72㎡				
	そ の 他	10,116.77㎡	0㎡	0㎡	10,116.77㎡				
	合 計	18,841.49㎡	0㎡	0㎡	18,841.49㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		7,879.78㎡ (7,879.78㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	7,879.78㎡ (7,879.78㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	語学学習施設は 情報処理学習施設を 兼ねる		
		40室	11室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		映画学部 映画学科			5 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書費には、 電子ジャーナル ・データベースの 整備費（運用コスト を含む）を含む 視聴覚教材充実のため (23) 図書・視聴覚資料充実の ため (24)	
	映画学部	7,136 [303] 7,000 [300]	35 [5]	10 [7]	725 719 700	2	0		
		(6,036 [203]) (4,800 [100])	(35 [5])	(10 [7])	625 519 500	2	0		
	計	7,136 [303] 7,000 [300]	35 [5]	10 [7]	725 719 700	2	0		
(6) 図 書 館		面 積	閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
		290.50㎡	72		31,491				
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		665.68㎡	該 当 な し						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	見積価格と納入価格の 差及び平成22年度納期 を平成23年度に変更 (23) 見積価格と納入価格の 差及び納期の変更(24)
		教員1人当り研究費等	100千円	100千円	図書購入費	0千円 23,400千円	23,400千円 5,100千円	— 千円	
		共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	102,159千円 138,838千円 156,616千円	120,678千円 81,598千円 68,292千円	— 千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,880千円	1,580千円	1,580千円	1,580千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		該 当 な し							

(注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その

理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

該当なし

大学の名称		〇〇大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過 率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				
大学の名称		〇〇短期大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過 率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校学科（AC対象学部等を含む）について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「－」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<映画学部 映画学科>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備考									
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名										
専	教授	材トリ ヒテ'カ' 鴻 英良 (64)	平成24年4月	スタートアップ演習					スタートアップ演習	平成24年3月教授就任辞退。「スタートアップ演習」は他に担当教員が複数いるため、支障はない。(24)									
				身体文化論			後任未定		身体文化論	平成24年3月教授就任辞退。平成24年度は未開講。(24)									
				演劇WS I					演劇WS I	平成24年3月教授就任辞退。「演劇WS I」は他に担当教員が1名いるため、支障はない。(24)									
				映画と演劇					映画と演劇	平成24年3月教授就任辞退。「映画と演劇」は他に担当教員が1名いるため、支障はない。(24)									
				パフォーマンス概論	兼	講師	鴻 英良 (64)	平成24年4月	パフォーマンス概論	平成24年3月教授就任辞退。平成24年度は兼任として担当する。(24)									
				理論A 専門基礎講義					理論A 専門基礎講義	平成24年3月教授就任辞退。「理論A 専門基礎講義」は他に担当教員が複数いるため、支障はない。									
				戯曲精読			後任未定		戯曲精読	平成24年3月教授就任辞退。(24)									
				舞台芸術批評研究			後任未定		舞台芸術批評研究	平成24年3月教授就任辞退。平成24年度は未開講。(24)									
				考える身体			後任未定		考える身体	平成24年3月教授就任辞退。(24)									
				言語芸術論			後任未定		言語芸術論	平成24年3月教授就任辞退。(24)									
				卒業論文・プロジェクト I						平成24年3月教授就任辞退。「卒業論文・プロジェクト I」は他に担当教員が複数いるため、支障はない。									
				卒業論文・プロジェクト II						平成24年3月教授就任辞退。「卒業論文・プロジェクト II」は他に担当教員が複数いるため、支障はない。									
専	教授	カサキ ケコ 川崎 賢子 (55)	平成25年4月	スタートアップ演習	専	教授	カサキ ケコ 川崎 賢子 (55)	平成24年4月	スタートアップ演習	教育・研究環境を向上するため、就任年度を繰り上げた。(23)									
				文化研究方法論					文化研究方法論										
				コミュニケーション					コミュニケーション										
				芸能概論					芸能概論										
				理論B 専門基礎講義					理論B 専門基礎講義										
				文芸精読					文芸精読										
				宝塚学					宝塚学										
				物語論					物語論										
				卒業論文・プロジェクト I					卒業論文・プロジェクト I										
				卒業論文・プロジェクト II					卒業論文・プロジェクト II										
				専					教授		イサカ ケジ 石坂 健治 (51)	平成24年4月	スタートアップ演習	専	教授	イサカ ケジ 石坂 健治 (51)	平成24年4月	スタートアップ演習	教育環境を向上するため、科目を追加。平成23年8月審査済(23)
													表象文化論					表象文化論	
コミュニケーション	コミュニケーション																		
日本へのまなざし	日本へのまなざし																		
フィルム・アーカイヴ学	フィルム・アーカイヴ学																		
映画流通論	映画流通論																		
理論B 専門基礎講義	理論B 専門基礎講義																		
アジア映画史	アジア映画史																		
ドキュメンタリー映画史	ドキュメンタリー映画史																		
上映企画WS	上映企画WS																		
卒業論文・プロジェクト I	卒業論文・プロジェクト I																		
卒業論文・プロジェクト II	卒業論文・プロジェクト II																		
									人間総合研究	教育環境を向上するため、科目を追加。平成23年8月審査済(23)									
									インターンシップ I	教育環境を向上するため、科目を追加。平成23年8月審査済(23)									
									インターンシップ II	教育環境を向上するため、科目を追加。平成23年8月審査済(23)									
									合同制作B	教育環境を向上するため、科目を追加。平成23年8月審査済(23)									
専	准教授	タハ シュウジ 田辺 秋守 (50)	平成25年4月	スタートアップ演習	専	准教授	タハ シュウジ 田辺 秋守 (50)	平成23年4月	スタートアップ演習	1年次、2年次配当の担当科目が多いため、就任年度を繰り上げた。(23)									
				人間総合研究					人間総合研究										
				表象文化論					表象文化論										
				哲学					哲学										
				映画ヒーロー論					映画ヒーロー論										
				理論A 専門基礎講義					理論A 専門基礎講義										
				映画理論A					映画理論A										
				映画イメージ論					映画イメージ論										
				映画ジャンル論B					映画ジャンル論B										
				比較映画論					比較映画論										
				物語論					物語論										
				情況論					情況論										
卒業論文・プロジェクト I	卒業論文・プロジェクト I																		
卒業論文・プロジェクト II	卒業論文・プロジェクト II																		

認可時の計画					変更状況					備考
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	伊津野 知多 (41)	平成23年4月	スタートアップ演習 表象文化論 触覚論 日本へのまなざし インターンシップ I インターンシップ II 映画ヒーロー論 映像とことば 理論A 専門基礎講義 映画理論B 映画理論研究 映画理論C 映画ジャンル論A 卒業論文・プロジェクト I 卒業論文・プロジェクト II	専	准教授	伊津野 知多 (42)	平成23年4月	スタートアップ演習 表象文化論 触覚論 日本へのまなざし インターンシップ I インターンシップ II 映画ヒーロー論 映像とことば 理論A 専門基礎講義 映画理論B 映画理論研究 映画理論C 映画ジャンル論A 卒業論文・プロジェクト I 卒業論文・プロジェクト II 人間総合研究 キャリア・サポート I	教育環境を向上するため、科目を追加。 平成23年8月審査済 (23) 教育環境を向上するため、科目を追加。 平成23年12月審査済 (23)
専	教授	荒井 晴彦 (64)	平成23年4月	スタートアップ演習 脚本基礎演習 長編シナリオ演習 I 長編シナリオ演習 II 長編シナリオ制作 脚本専門基礎講義 脚本専門演習 I-1 脚本専門演習 I-2 脚本専門演習 II 比較映画論 卒業制作 I 卒業制作 II	専	教授	荒井 晴彦 (65)	平成23年4月	スタートアップ演習 脚本基礎演習 長編シナリオ演習 I 長編シナリオ演習 II 長編シナリオ制作 脚本専門基礎講義 脚本専門演習 I-1 脚本専門演習 I-2 脚本専門演習 II 比較映画論 卒業制作 I 卒業制作 II 映画制作基礎演習	教育環境を向上するため、科目を追加。 平成23年12月審査済 (23)
専	教授	今村 大介 (51)	平成23年4月	スタートアップ演習 人間総合研究 演劇WS I 演劇WS II 死生観のコスモロジー 映画制作基礎演習 映画制作特別演習 映画と演劇 演出専門基礎講義 卒業制作 I 卒業制作 II	専	教授	今村 大介 (52)	平成23年4月	スタートアップ演習 人間総合研究 演劇WS I 演劇WS II 死生観のコスモロジー 映画制作基礎演習 映画制作特別演習 映画と演劇 演出専門基礎講義 卒業制作 I 卒業制作 II 脚本基礎演習 長編シナリオ演習 I 長編シナリオ演習 II 長編シナリオ制作	カリキュラム変更に伴い、その後科目を削除した。(23) 教育環境を向上するため、科目を追加。 平成23年12月審査済 (23) 教育環境を向上するため、科目を追加。 平成23年12月審査済 (23) 教育環境を向上するため、科目を追加。 平成23年12月審査済 (23) 教育環境を向上するため、科目を追加。 平成23年12月審査済 (23)
専	教授	緒方 明 (53)	平成25年4月	スタートアップ演習 演出専門基礎講義 脚本演出専門演習 I-A 卒業制作 I 卒業制作 II	専	教授	緒方 明 (52)	平成25年4月	スタートアップ演習 演出専門基礎講義 脚本演出専門演習 I-A 卒業制作 I 卒業制作 II 脚本演出専門演習 II 合同制作 A	教育環境を向上するため、科目を追加。 平成23年8月審査済 (23) 教育環境を向上するため、科目を追加。 平成23年8月審査済 (23)
専	教授	安岡 卓治 (57)	平成24年4月	スタートアップ演習 コミュニケーション ドキュメンタリー専門基礎演習 ドキュメンタリー専門演習 I ドキュメンタリー専門演習 II 合同制作 B 卒業制作 I 卒業制作 II	専	教授	安岡 卓治 (57)	平成24年4月	スタートアップ演習 コミュニケーション ドキュメンタリー専門基礎演習 ドキュメンタリー専門演習 I ドキュメンタリー専門演習 II 合同制作 B 卒業制作 I 卒業制作 II 人間総合研究	教育環境を向上するため、科目を追加。 平成23年8月審査済 (23)
専	教授	川上 皓市 (64)	平成23年4月	スタートアップ演習 撮影照明専門基礎演習 技術合同専門演習 撮影照明専門演習 卒業制作 I 卒業制作 II	専	教授	川上 皓市 (65)	平成23年4月	スタートアップ演習 撮影照明専門基礎演習 技術合同専門演習 撮影照明専門演習 卒業制作 I 卒業制作 II 映画制作特別演習 合同制作 A	教育環境を向上するため、科目を追加。 平成23年8月審査済 (23) カリキュラム変更に伴い、その後科目を削除した。(23) 教育環境を向上するため、科目を追加。 平成23年8月審査済 (23)

認可時の計画					変更状況					備考
専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任 の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	ウツミ ユカ 弦巻 裕 (61)	平成24年4月	スタートアップ演習 音響論 録音専門基礎演習 技術合同専門演習 録音専門演習 卒業制作 I 卒業制作 II	専	教授	ウツミ ユカ 弦巻 裕 (61)	平成24年4月	スタートアップ演習 音響論 録音専門基礎演習 技術合同専門演習 録音専門演習 卒業制作 I 卒業制作 II 映画制作特別演習 合同制作 A	教育環境を向上するため、科目を追加。 平成23年8月審査済 (23) カリキュラム変更に伴い、その後科目を削除した。(23) 教育環境を向上するため、科目を追加。 平成23年8月審査済 (23)
専	准教授	ホノノ ヲサキ 細野 辰興 (59)	平成25年4月	スタートアップ演習 映画ヒーロー論 演出専門基礎講義 脚本演出専門演習 II 卒業制作 I 卒業制作 II	専	准教授	ホノノ ヲサキ 細野 辰興 (59)	平成24年4月	スタートアップ演習 映画ヒーロー論 演出専門基礎講義 脚本演出専門演習 II 卒業制作 I 卒業制作 II 脚本演出専門演習 I-A 合同制作 A	教育、研究を向上するため、就任年度を繰り上げた。(23) 教育環境を向上するため、科目を追加。 平成23年8月審査済 (23) 教育環境を向上するため、科目を追加。 平成23年8月審査済 (23)
専	准教授	サイノウ ヒサシ 齋藤 久志 (52)	平成23年4月	スタートアップ演習 脚本基礎演習 長編シナリオ演習 I 長編シナリオ演習 II 長編シナリオ制作 映像とことば 脚本専門基礎講義 脚本専門演習 I-1 脚本専門演習 I-2 脚本専門演習 II 脚本演出専門演習 I-B 卒業制作 I 卒業制作 II	専	准教授	サイノウ ヒサシ 齋藤 久志 (52)	平成24年4月	スタートアップ演習 脚本基礎演習 長編シナリオ演習 I 長編シナリオ演習 II 長編シナリオ制作 映像とことば 脚本専門基礎講義 脚本専門演習 I-1 脚本専門演習 I-2 脚本専門演習 II 脚本演出専門演習 I-B 卒業制作 I 卒業制作 II 合同制作 A 映画制作基礎演習	平成23年度は日本映画学校で専任として授業を担当する必要が生じたため、就任年度を繰り下げた。 (23) 教育環境を向上するため、科目を追加。 平成23年8月審査済 (23) 教育環境を向上するため、科目を追加。 平成23年12月審査済 (23)
専	准教授	アベ ヒロヒデ 阿部 浩英 (51)	平成24年4月	スタートアップ演習 編集専門基礎演習 技術合同専門演習 編集専門演習 比較映画論 卒業制作 I 卒業制作 II	専	准教授	アベ ヒロヒデ 阿部 浩英 (51)	平成24年4月	スタートアップ演習 編集専門基礎演習 技術合同専門演習 編集専門演習 比較映画論 卒業制作 I 卒業制作 II 映画制作特別演習 合同制作 A	教育環境を向上するため、科目を追加。 平成23年8月審査済 (23) カリキュラム変更に伴い、その後科目を削除した。(23) 教育環境を向上するため、科目を追加。 平成23年8月審査済 (23)
専	講師	ハマグチ フミキ 濱口 文幸 (51)	平成25年4月	スタートアップ演習 デジタル映像技術概論 ビデオ・デジタル技術基礎演習 卒業制作 I 卒業制作 II	専 兼	准教授 講師	佐野哲郎 (53) 玉木則順 (49)	平成24年4月 平成23年4月	スタートアップ演習 デジタル映像技術概論 ビデオ・デジタル技術基礎演習 卒業制作 I 卒業制作 II	平成23年4月、濱口文幸講師死亡のため、担当者変更。(23) 平成23年12月審査済 (23) 平成23年4月、濱口文幸講師死亡のため、担当者変更。(23) 平成23年12月審査済 (23) 平成23年4月、濱口文幸講師死亡のため、担当者変更。(23) 平成23年12月審査済 (23) 平成23年4月、濱口文幸講師死亡のため、担当者変更。(23) 平成23年12月審査済 (23)
専	准教授	ハン トンヒョン 韓 東賢 (43)	平成24年4月	スタートアップ演習 フィールド調査方法論 韓国語 社会学入門 朝鮮半島の近現代社会史 理論B専門基礎講義 エスニシティ研究 卒業論文・プロジェクト I 卒業論文・プロジェクト II	専	准教授	ハン トンヒョン 韓 東賢 (43)	平成24年4月	スタートアップ演習 フィールド調査方法論 韓国語 社会学入門 朝鮮半島の近現代社会史 理論B専門基礎講義 エスニシティ研究 卒業論文・プロジェクト I 卒業論文・プロジェクト II 人間総合研究	教育環境を向上するため、科目を追加。 平成23年8月審査済 (23)
					専	准教授	佐野哲郎 (53)	平成24年4月	スタートアップ演習 映画制作基礎演習 ビデオ・デジタル技術基礎演習 撮影照明専門基礎演習 技術合同専門演習 撮影照明専門演習 合同制作 A 卒業制作 I 卒業制作 II	教育環境を向上するため、専任教員の新規採用。 平成23年12月審査済 (23)
					専	講師	熊澤誓人 (41)	平成24年4月	スタートアップ演習 映画制作基礎演習 演出専門基礎講義 脚本演出専門演習 I-A 脚本演出専門演習 I-B 脚本演出専門演習 II 合同制作 A 卒業制作 I 卒業制作 II	教育環境を向上するため、専任教員の新規採用。 平成23年12月審査済 (23)

認可時の計画					変更状況					備考	
専任 兼任 兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任 兼任 兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
兼任	講師	カハシ カツウ 高橋 克三 (60)	平成24年4月	キャリア・サポートⅠ	兼任	講師	ヤマモ シゲル 山本 繁 (33)	平成24年4月	キャリア・サポートⅠ	高橋克三兼任講師退職のため、担当教員を変更。(24)	
				キャリア・サポートⅡ			ヤマモ シゲル 山本 繁 (33)	平成24年4月	キャリア・サポートⅡ		高橋克三兼任講師退職のため、担当教員を変更。(24)
				キャリア・サポートⅢ			ヤマモ シゲル 山本 繁 (33)	平成24年4月	キャリア・サポートⅢ		高橋克三兼任講師退職のため、担当教員を変更。(24)
兼任	講師	サカヅリ マサヒ 坂尻 昌平 (54)	平成24年4月	アメリカ映画史	兼任	講師	サカヅリ マサヒ 坂尻 昌平 (53)	平成25年4月	アメリカ映画史	「アメリカ映画史」の配当年次を2年後期から3年後期に変更したため、就任が遅延した。(24)	
兼任	講師	ムラオ セイジ 村尾 静二 (41)	平成24年4月	文化人類学 死生観のコスモロジー 映像人類学	兼任	講師	ムラオ セイジ 村尾 静二 (42)	平成23年4月	文化人類学 死生観のコスモロジー 映像人類学	「文化人類学」が1年～2年配当科目であるため、就任年度を繰り上げた。(23)	
兼任	講師	シンドウ ヒロフ 新藤 浩伸 (34)	平成25年4月	社会教育計画	兼任	講師	シンドウ ヒロフ 新藤 浩伸 (33)	平成25年4月	社会教育計画	「生涯学習概論」(4単位)を削除し、「生涯学習概論Ⅰ」と「生涯学習概論Ⅱ」(各2単位)の2科目に分割した。(24)	
				社会教育特講Ⅱ					生涯学習概論		「生涯学習概論」を分割したことにより科目を新設。(24)
				生涯学習概論					生涯学習概論Ⅰ		「生涯学習概論」を分割したことにより科目を新設。(24)
									生涯学習概論Ⅱ		「生涯学習概論」を分割したことにより科目を新設。(24)
兼任	講師	マノ モモコ 間野 百子 (51)	平成23年4月	教育学概論	兼任	講師	マノ モモコ 間野 百子 (52)	平成25年4月	教育学概論	新カリキュラムでの学芸員養成課程申請に伴い、科目を削除。(23)	
				社会教育演習および実習					社会教育演習および実習		「教育学概論」を削除したことにより、就任が遅延した。(23)
				社会教育特講Ⅰ					社会教育特講Ⅰ		
兼任	講師	ヤマナ トシオ 山梨 俊夫 (65)	平成24年4月	博物館学	兼任	講師	オオタ ヤスヒト 太田 泰人 (60)	平成24年4月	博物館学	新カリキュラムでの学芸員養成課程申請に伴い、科目を削除。(23)	
				博物館資料論			博物館資料論	担当者を変更。(23)			
							博物館経営論	新カリキュラムでの学芸員養成課程申請に伴い、科目を新設。(23)			
					兼任	講師	キノタ オユキ 木下 直之 (58)	平成24年4月	博物館概論	新カリキュラムでの学芸員養成課程申請に伴い、科目を新設。(23)	
					兼任	講師	クラシ シノ 倉石 信乃 (48)	平成25年4月	博物館展示論	新カリキュラムでの学芸員養成課程申請に伴い、科目を新設。(23)	
					兼任	講師	クラシ シノ 倉石 信乃 (48)	平成25年4月	博物館資料保存論	新カリキュラムでの学芸員養成課程申請に伴い、科目を新設。(23)	
					兼任	講師	オカワ ミル 小川 稔 (57)	平成25年4月	博物館教育論	新カリキュラムでの学芸員養成課程申請に伴い、科目を新設。(23)	
					兼任	講師	ヒラノ マサヒロ 平野 正裕 (52)	平成25年4月	博物館情報・メディア論	新カリキュラムでの学芸員養成課程申請に伴い、科目を新設。(23)	
兼任	講師	ウメダ アユミ 梅田 亜由美 (37)	平成26年4月	博物館実習			後任未定		博物館実習	平成23年、梅田亜由美兼任講師就任辞退。(24)	
兼任	講師	カシマ マユ 鹿島 蘭 (44)	平成24年4月	美術史	兼任	講師	カシマ マユ 鹿島 蘭 (44)	平成24年4月	美術史	「美術史」(4単位)を削除し、「美術史Ⅰ」と「美術史Ⅱ」(各2単位)の2科目に分割した。(24)	
				絵巻特論					絵巻特論		「美術史」を分割したことにより科目を新設。(24)
									美術史Ⅰ		「美術史Ⅰ」を分割したことにより科目を新設。(24)
					後任未定			美術史Ⅱ	「美術史Ⅱ」を分割したことにより科目を新設。(24)		
兼任	講師	マツモト サトコ 松本 聡子 (34)	平成23年4月	精神医学入門	兼任	講師	イノガイ ユウコ 磯谷 悠子 (31)	平成23年4月	精神医学入門	平成23年1月、松本聡子兼任講師就任辞退のため、担当教員を変更。(23)	

(注)・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

・ 年齢は、「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。

・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

・ 専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
14	8	1	0	23	2	12	9	1	0	22	3	鴻英良（教授）就任辞退。 緒方明（教授）平成25年度就任。 佐野哲郎（准教授）新規採用。 濱口文幸（講師）死去。 熊澤誓人（講師）新規採用。 柳圭介（助手）新規採用。
(8)	(3)	(0)	(0)	(11)	(2)	[△2]	[1]	[0]	[0]	[△1]	[1]	

(注) ・ 「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに、[] 内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	講師	濱口 文幸	平成23年4月急逝のため。
2	教授	鴻 英良	日本映画大学設置にあたって、平成22年3月には平成24年4月1日から専任教員（教授）としての就任を承諾していたが、平成24年3月になって、本人の演劇を中心とした批評活動と本学の就業規則の考え方について合意が得られなかったため、本年4月からの専任教員としての就任を辞退した。

(注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 濱口文幸（講師）の担当科目は、新規採用した兼任教員と専任教員（佐野哲郎准教授）で担当するため、カリキュラムの変更は生じていない。 ・ 就任辞退の鴻英良（教授）の担当する授業科目のうち、平成24年度開講予定の科目は、「演劇WS I」、「身体文化論」、「映画と演劇」、「パフォーマンス概論」、「理論A専門基礎講義」、「舞台芸術批評研究」の6科目である。 <p>「身体文化論」（教養科目）は、本年度未開講とするが、この科目以外に本学では幅広い教養科目を開講していることから、カリキュラム上必要な学習の機会は十分確保されていると考えている。</p> <p>「パフォーマンス概論」は鴻氏が兼任講師として授業を行うことを了承しており、学生への影響はない。</p> <p>「演劇WS I」、「映画と演劇」、「理論A専門基礎講義」は、他に担当教員がいることから、授業運営に支障はない。</p> <p>「舞台芸術批評研究」（理論系コースの学生の選択必修科目）は今年度未開講とするが、この期間に開講される選択必修科目は他に5科目あり、学生の選択肢は十分確保されている。</p> <p>「学生への周知方法」：</p> <p>担当教員変更、未開講の情報は、決定しているものは新学期初頭のガイダンスで周知したほか、学生に配布する「学生便覧」と「シラバス」に反映した。今後の変更については随時掲示するとともに、ガイダンス等で周知し、学生に不利益が生じないようにする。</p>
--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (22年10月)	設置の趣旨・目標が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。	設置認可された設置計画の確実な履行を行っているところである。 教育研究活動のより一層の向上を図るため、学内に委員会等を設置し鋭意検討を始めている。	
設置計画履行状況 調 査 時 (24年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<映画学部 映画学科>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
<p>① 卒業要件単位数</p> <p>◆必修科目 32単位 ◆選択必修科目のうち、 専門基礎科目から 4単位 専門科目から ・42単位 (脚本演出専門コース) ・38単位 (撮影照明・録音・編集・ドキュメンタリーコース) ・30単位 (理論A・理論Bコース)</p> <p>※撮影照明・録音・編集・ドキュメンタリーの各コースの学生は、 選択必修科目の不足単位分(4単位)を、専門科目の選択科目 から履修すること。 ※理論A・理論Bの各コースの学生は、選択必修科目の不足単位分 (12単位)を、専門科目の選択科目から履修すること。</p> <p>◆選択科目のうち、教養科目は、A～Eの各群から2科目以上、 合計20単位以上</p> <p>上記を満たした上で合計124単位を修得すること。</p>	<p>① 卒業要件単位数</p> <p>◆必修科目 32単位 ◆選択必修科目のうち、 専門基礎科目から 4単位 専門科目から ・42単位 (脚本演出専門コース) ・38単位 (撮影照明・録音・編集・ドキュメンタリーコース・ 理論A・理論Bコース)</p> <p>※撮影照明・録音・編集・ドキュメンタリーの各コースの学生は、 選択必修科目の不足単位分(4単位)を、専門科目の選択科目 から履修すること。</p> <p>◆選択科目のうち、教養科目は、A～Eの各群から2科目以上、 合計20単位以上</p> <p>上記を満たした上で合計124単位を修得すること。</p>

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 ※添付「各種委員会規程」参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度は総務委員会の中にFD委員会を置き、教員の資質の維持向上方策について検討。 ・平成24年度より、各種委員会の見直しに伴い、独立した委員会としてFD委員会を設置。 ・委員長・中原俊弘教授。他専任教員5名 <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回FD委員会 (平成24年4月20日開催) : 出席7名 (うち陪席者2名) ・第2回FD委員会 (平成24年5月11日開催) : 出席10名 (うち陪席者5名) <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学の特色を活かしたFDの方策について ・佐藤学長講義 (日本映画史) の映像・音声の記録について
--

② 実施状況

a 実施内容

- ・授業方法についての検討会
- ・教員相互の授業参観
- ・共同で授業を構築する取り組み
- ・佐藤学長講義（日本映画史）の映像・音声記録の作成
- ・授業評価アンケート

b 実施方法

- ・授業方法についての検討会： 1・2年次必修科目について、科目担当教員、1年担任、職員で授業内容の検討、情報交換を行う。
- ・教員相互の授業参観： 学部長を中心として授業参観を実施。
- ・共同で授業を構築する取り組み： コラボレーション授業、オムニバス授業で、異なる専門を持つ教員同士が合同授業を構築、それぞれの授業に参加して討議を行うほか、授業終了時には反省会も行う。
- ・佐藤学長講義（日本映画史）の映像・音声記録の作成： 全15回分の講義を撮影・録音・編集してDVD化し、専任教員に配布予定。
- ・授業評価アンケート： 原則として全科目に対して実施予定。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・授業方法についての検討会： 平成23年度より随時実施している。
- ・教員相互の授業参観： 平成23年度より随時実施している。
- ・共同で授業を構築する取り組み： 平成23年度より実施している。
- ・佐藤学長講義（日本映画史）の映像・音声記録の作成： 平成24年6月20日の第1回講義から収録を行う。
- ・授業評価アンケート： 平成24年度前期より実施。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・小規模の大学であるため、授業検討会や反省会を臨機応変に行うことができ、効果が上がっている。
- ・コラボレーション授業、オムニバス授業は、教員同士のコミュニケーションを促進し、授業についての意見や感想等を自由に伝え合うことのできる場となっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・平成23年度は、授業評価アンケートの内容について検討した。
- ・平成24年度前期より、授業評価アンケートを原則として全科目に対して実施する。

b 教員や学生への公開状況、方法等

現在検討中である。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学は平成23年度に設置された大学であり、初年度である23年度の授業計画等に若干の変更はあるものの、おおむね設置の趣旨・目的に沿った教育研究活動が展開されている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成24年10月末 公表予定

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・現在のところ未定

(注) ・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有) ・ (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(24年 6月 中旬)